

鎌ヶ谷市生涯学習審議会 令和元年度第3回会議 会議録

◎ 開催日時 令和2年2月18日(火) 10時～12時20分

◎ 会場 鎌ヶ谷市役所 本庁舎6階 第4委員会室

◎ 出席委員 13名

篠田繁会長、伊藤眞由美副会長、有川かおり委員、石田友和委員、清松檜男委員、小林久子委員、佐藤克己委員、菅井浩樹委員、中野洪委員、萩原啓二委員、細井和美委員、森本聡委員、御代川泰久委員

◎ 欠席委員 1名

赤松茂顕委員

※鎌ヶ谷市生涯学習審議会の委員定数14名に対し、出席委員13名であり会議は成立した。

◎ 事務局 11名

生涯学習推進課： 岩松課長、渡邊課長補佐、小池副主幹、渡邊生涯学習推進係長、谷口図書館長、田中企画調整係主査、武田企画調整係主事補

文化・スポーツ課： 後野文化係長、伊藤スポーツ係長、三石郷土資料館長

市民会館： 平澤主査

◎ 傍聴者 0名

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議録署名人の選出

50音順に2名選出する慣例により、石田委員、伊藤委員に決定した。

4 報告事項

①令和元年度生涯学習関係事業報告及び令和2年度生涯学習関係事業計画について

～事務局から資料に基づき報告～

【意見及び質疑応答】

会長： 資料について、市民会館は昨年まで載せていなかったが、今回は指定管

料で約9,400万円の予算を載せている。また今まで予算の金額が表示されていたところが、所々「指定管理料」という記載に変わってきているのはなにか。

事務局： 中央公民館と市民会館については、来年度から直接市の予算で事業を行うという形ではなく、(株)セイウンに指定管理料を支払い、維持管理、事業の運営も含めてお任せするという形になるので、市としては具体的な事業ごとの予算は掲示していない。

会 長： 実行委員会のようなものがあるが、そちらに投げて、係る費用については事業者へ渡す、ということか。

事務局： 事業者は、これまでの事業の継続をしていただけると聞いている。講師なども含めて、事業者で検討して企画、実施するという形になる。

会 長： 郷土資料館の古文書の修補というところで、昨年まではマイクロフィルムに移し替えるなど、色々と修正の作業等が必要だということで額が含んであったが、今回は20万円止まりで、一つ作業が終わったとみてよろしいか。

事務局： マイクロフィルム化と、史料を収蔵している倉庫の燻蒸作業を隔年で実施している。今年度はそれを行ったが、令和2年度は実施予定がない。

古文書の修正については、マイクロフィルム化も進めているが、文書の虫食いや傷みが激しいので、撮影にも耐えられないことから、修補が必要な資料がかなり増えてきたため、修補も進めつつマイクロフィルム化も隔年で実施をしていくという計画である。

会 長： 「鎌ヶ谷のあゆみ」等が発刊されて、一段落したのかと思うが。

事務局： 史料については市史が終わったからなくなるということではなく、続々と発見されているので、次期の市史発刊に向けて作業を進めているところである。

委 員： 「図書館PR活動の充実」の中で、「小学生図書カード配布事業」に（平成31年度まで）と書かれてある。とてもよい事業だと思うが、なぜこのようなコメントが入っているのかご説明いただきたい。

事務局： 「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと・創生総合戦略」は今年度までの市全体の事業であるが、事業の担当部署がもう一年延ばそうということで準備作業を進めているところである。それが完了した後に、令和2年度までという表記にさせていただく。

委 員： 承知した。

会 長： 「障がい者への図書資料郵送・宅配サービス」「図書学校配達」は、いままで載っていなかったが、予算も両方併せて約130万円付いているが、これまでも行っていたのか、これらは新たな取組みか。

また、どれくらいの配送を見込んでいるのか。

事務局： 郵送・宅配サービスについては、来年度からの新たな事業となる。郵便

または図書館の職員が直接自宅まで届けるサービスである。

来年度の見込みは、近隣市の実際に運用している図書館などの実績を見ますと、概ね郵送で100件まで、宅配サービスで100件、これくらいが上限ではないかという想定で事業を組み立てた。

また、「図書学校配達」も、来年度から図書館で実施する事業だが、今年度上半期から図書館と情報共有を行いながら学校教育課で試行という形で実施してきた事業を、来年度は事務の効率化という観点から図書館で予算を持って実施する。これは学校図書館との連携の強化ということもあるが、学校の先生方の負担を軽減するという側面も持ち合わせた事業である。

会 長： 配達に関しては宅配業者に頼むということになるのか。

事務局： 一般には「宅配」というと宅配業者をお願いするイメージだが、図書館の定義上では「宅配サービス」とは、職員が直接図書を届けることである。そのため委託の費用は計上していない。

会 長： 司書や職員が行うということか。

事務局： そうである。

会 長： 学校関係は学習指導要領が新しくなって、小学校5年、6年で英語が教科になったり、道徳も小中高まで正規の教科になったり、プログラミングが入ってきたりする。また、講義方式だった授業がアクティブラーニングという討論や、先生が授業するのではなく生徒が主体で授業をするようになるなど、相当変わってくると思う。

そういう意味で資料として、学校にはないような図書館の図書等を借りるようなことが必要になると思うので、図書館と学校との連携をよろしくお願いしたい。

②令和2年度社会教育関係団体に対する補助金交付について

～事務局から資料に基づき報告～

【意見及び質疑応答】

会 長： 補助金に関して、昨年等と比べ、細かい資料になっているので、どういう団体がそれぞれの活動をしているのかが今回良くわかったが、何か質問等はあるか。

委 員： 鎌ヶ谷市小中学校PTA連絡協議会（以下、「市P連」という。）に関してだが、他の4つの団体は、吹奏楽団とか子ども活動のために直接使われている。しかし、「市P連研究大会」「市P連視察研修」などは、保護者が活動しているものである。実態を把握していただき、適切なのか第三者である生涯学習推進課でチェックしていただきたい。親同士の懇親会だけで終わっている傾向にある。活動結果に対して、その成果が、学校単位のPTAで総括・情報共有されているか、子どもたちにちゃんと還元されているか、そういう視点で、果たしてやっている意味があるかを市P連の事務局

に対して確認をしてほしい。事務局は、学校の教頭先生が担当しており、学校の先生の負担軽減にもつながる。

会 長： P T Aという組織そのものが、今、必ず入らなくてはいけないものなのかとかいう問題が出ているし、たぶん学校では副校長や教頭先生が月一回役員会に出席したりして運営している。

P T A関係の方からすると、市が出すものではなくて、各個人、学校組織が負担するものだという事か。

委 員： 実態は親同士の懇親会なので、それに対して市のお金がつくということに意味がないと思っている。研究大会やバス視察に何名出してくれと要請がくるが、強制されるものではないし、やるのであれば、やりたい人が自腹で出ればよいというのが一つの考え方でそうすべきだと思う。当事者がチェックできていない以上、お金を出している市がしっかり言わないとだめだと思う。補助金を出す側としての責任もある。学校単位でお金を出すということではない。

会 長： P T Aそれ自体の在り方が今、相当問われている時期なので、市P連に入っていない学校もあれば、なかには宴会や研修旅行というようなことで単なるバスツアーで終わっているということも含め、生涯学習推進課で監査をお願いしたいということであるがいかがか。

事務局： 事業について実態を把握していない、というのが正直なところである。生徒さんたちに還元されているかが大事だと思うので、実態を今後、調査していきたい。

ただ、社会教育団体には基本的に自主的活動していただくというのが主で、社会教育法上事業の内容について市は介入できないということになっているが、市のお金を出す、ということにあたっては、使途は見極める必要があるかと考える。

事業内容については、市P連の中でも皆さんで事業内容についても精査していただけるとありがたい。

委 員： 来年度、そのような取組みがされようとしているのできちんと報告する。内容まで口出しするのは難しいと思うが、本来の目的を逸してないかというところでしっかりチェックをしていただきたい。

事務局： 承知した。

委 員： この資料の「鎌ヶ谷市小中学校P T A連絡協議会」の主な使途の中に「消耗品、生花」とあるが、生花に違和感がある。生花が本当に市の補助金として必要な使い道なのか。また、「鎌ヶ谷市スカウト連絡協議会」のところに「食糧費」とある。何に使われているかわからないが、今、自分で食べるものは自分で、という時代の中で食糧費がどうして補助対象になるのか。

自主的な活動は大事だと思うが、補助金がどのように使われているのか、どういうものに補助金を出すという対象が要綱などで決められているのか。

もう一つ、5つの団体から要望があったということだが、今回補助金を出すにあたって他の団体からの募集は行っていないのか。交付の額が決まっても、他の団体が入ってきた時に上手に割り振ることもできるのではないか。どうして5団体同じなのか、ほかからは応募はないのか。

事務局： 補助金の交付基準があり、使途については、生花などと具体的なものは示していないが、交付基準で認めている用途である。

また、5団体以外の団体に対しては、広くは募集していないが、これまでほかの団体から補助金をもらえるならやらせてほしいということは聞いていない。対象団体も元々はPTAなどの方たちが引き続き地域で子ども達の健全育成のためにと活動していただいている団体で、どちらかというに参加してくれる人員を集めるのに四苦八苦しているところで活動していただいている状況である。

会 長： PTAなどの在り方も時代とともに変わってきているので、補助のつけ方も考えていかなければいけない。

③審議会等出席状況について

～担当委員から資料に基づき報告～

5 協議事項

①第4次鎌ヶ谷市生涯学習推進基本計画策定に向けた たたき台について

～事務局から資料に基づき説明～

【意見及び質疑応答】

委 員： 感想レベルになるが、とても全体像が良く見える、大変ご苦労されたなというのが感じられる。一点だけ気になる点を挙げるとすると、社会教育マイノリティの視点が欠けるのかなという感じがした。例えば、障がいを持っている方の生涯学習とか、外国人人口が増えている中で生涯学習をどうするのかなど、学会でもとても話題になっているので、そういった視点が入るともっと良くなると思う。

委 員： 9ページの「主な事業を掲載」のところに、図書館の改修事業という記載があり、ありがたいと思っている。鎌ヶ谷市の図書館が中心になって活動を行えばよいと思っており、図書館の位置づけが大変大きいものであると思うが、図書館の規模や蔵書の内容が他市に比べて残念だと思っていたため、予算もあると思うが、長寿命化に向けた大規模改修工事をぜひとも実行してもらいたい。

委 員： 2点ほど、読んだ感想だが、基本構想では、市民や行政などが主体性と独自性を発揮しながらまちづくりを推進すると謳っているが、生涯学習推進基本計画案にはそういった視点がちょっと見受けられない。どちらかという、行政側の取組みがいま一步受け身の形で書かれていると読み取れ

る。したがって行政として基本計画案の中に基本構想に則ったような自主的で独自性豊かな積極的に市民の参画を促すような取組みというものが文言として必要ではないか。

もう一点は、基本計画案は6年間で2回だが、その間に時代の変化がある。それに対応する見直し条項が無い。可及的速やかに方針や理念などを変更する場合はどうするのか。

いちばん気になるのは、今後6年から12年間続けていく中で、代替わりする方々が運用するうえで旧態依然の事業が残ってしまって、次世代の方の足かせとなって運用しづらい状況が生まれるので、見直し条項を入れたらどうか。

会 長： これまで市の総合基本計画は、20年の計画で、10年、10年で見直しをして、ようやく新しい基本構想ができ、それを受けて、第4次生涯学習推進基本計画を今、作っている。総合基本計画も、20年から12年、前期6年、後期6年になったので、生涯学習基本計画も6年としている。出したら出しっぱなしではなくて、ある程度検討していかないと新しい時代に対応した生涯学習が存続していかないのではないかと思う。

委 員： 見やすくわかりやすいと思うが、気になるのは「持続可能」というところが大事だと思う。年齢層の割合、財政事情も今のまま行くとはい限らない、施設も老朽化していく、そういう視点をいれながら計画を練っていくと、柔軟な対応が可能ではと思う。

会 長： まだ、施策が決まっていないので、そういったところで活かしていければよいと思う。全体的にみるとまだ、たたき台だが、イラストや写真を入れるとわかりやすいので今後検討していただきたい。

また、これまで生涯学習で「青少年の育成」をずっとやってきたが、基本構想では生涯学習ではなく、基本目標2の「子育て・教育」に付け足されたようになっていく。「青少年の育成」という言葉を基本目標5の「生涯学習」にも入れるよう総合基本計画の審議会で見直しをしたが、結局入らず残念に思っている。

委 員： 基本目標5の「豊かな心と生きがいを実感できるまち」というのはとてもよい言葉だと思う。この中に、“ライフスタイルの変化”が入っている。ITの進歩（スマホが第5世代に入る）に乗り遅れてはいけない。やはり生涯学習をするという意味では新しい技術、新しいライフスタイルを取り入れていくことが必要と考える。どのように取り入れていくかはこれから考えていかなくてはならないが、少なくともパソコンが出来る人も、まだまだ高齢者は多くない。インターネットで報告してと言われても、インターネットを見られない、という人もたくさんいる。そういう人たちをどうやって仲間に入れていくかを考えていく必要があると思う。

会 長： パソコンの講座は開いたりしているが、スマホが主流で持ってないと生

きていけないという感じがある。小中学生がゲーム依存症になったり、ひきこもって不登校になったりと、14万人を超えるような問題も起きているが、高齢者もパソコン、スマホを使えるよう講習などを取り入れていくということだと思うが。

委員： 基本理念のところで、「自他共栄による人・まちづくり」とあるが、あまり聞いたことがなかった。しかし第3次基本計画からあるということで、調べてみたら、柔道用語で「他の人と助け合いながら良い社会をつくろうとする教え」とあり、教えによるというところでは、知らない人からすると宗教的部分があると感じてしまう。第3次基本計画にはイラスト入りで自他共栄についての説明書きがあり、そういったものがあれば初めて目にする人でも自他共栄の意味が分かると思う。鎌ヶ谷市が求める『自他共栄』とはこういうものなんだ、というのを注釈として入れておいた方がよい。

2つ目は、「まちづくり」というのを新しく入れたということだが、同ページの(3)に活かす「学びの成果をまちづくりにつなげます」とあるが、その下に「地域づくりにつながるよう」という言葉があり、地域づくりとまちづくりは違うのではないかと思ったときに、「まちづくり」という視点が少ないと思った。

敢えて基本理念に「まちづくり」と入れたならば、地域と地域をつなげるまちづくり、という視点を盛り込んだらよいと考える。

委員： 生涯学習は子どもだけではないが、今、学校では特別支援教育というのをとても重要視している。学校と社会をとというのが次の学習指導要領の一番の本丸の話なので、生涯学習に、“支援”とか“共生”という言葉がたくさん入っていると、社会が子ども達を見守っている、鎌ヶ谷市全体が温かいまちであると感じる。

会長： 学校ともつながっていかなくてはならない。支援学級が各学校に一つはあり、発達障害の子が7人に1人ぐらい、1クラスで2～3人ADHD(※1)やLD(※2)、情緒不安定な子がいる実態を踏まえて、生涯学習は児童から高齢者までという捉え方なので、生涯学習がどう関わっていけるのか検討していきたい。

(※1 注意欠陥多動性障害 ※2 学習障害 いずれも発達障害の一種)

委員： 基本構想について、もう議会で決定されているが、基本目標5の豊かな心と生きがいを実感できるまち(生涯学習・文化・スポーツ)と3つとも繋がりはあるのは分かるが、生涯学習を独立させてもらえるとありがたかった。

会長： こちらで出た意見を市の総合基本計画の審議会にも言っているが、あくまでも市でできたものに対する意見にすぎない。意見が通らないこともあるが、「生涯学習」を前にもってこること、「文化スポーツ」も「文化・スポーツ」にするということは意見が通った。

委員： 計画に関しての今後のスケジュールを教えてください。文言を出して、どう跳ね返ってくるのか、揉んでいくのか、ただ受け取るだけなのか。

事務局： 本日、皆さんからのいただいたご意見を踏まえて、すべて反映できるかは市の状況もあるので検討しながら、これから計画案をつくる。

おそらく8月か9月には総合基本計画が固まるので、そこで生涯学習推進基本計画の案も出していきたい。案が決まったら、あらためて審議会にお示しをして、そこで承認をもらえるのか、直した方がいいのか、修正があれば再度修正案として出し、この案でよいということであれば、パブリックコメントを行い、最終的に来年度末に決定したいと思う。来年度の審議会は、場合によっては時期がズレてくる可能性もある。

委員： 基本構想の写真が気になった。レインボープラン21をつくった時と同じような写真で、いつの写真なのかというような写真を使っている。第4次計画については最新の写真を載せてもらいたい。

会長： 写真は古いものを引用することのないようにお願いしたい。では記入していただいたたたき台についての意見を出していただき、7月以降いつになるか未定だが、また審議会で話し合いをお願いします。

事務局： 先ほどの、まちづくりと地域づくりの文言のところでは、地域づくりが土台と考える。いろいろな課題、子どもの見守り、高齢者の見守り、防災防犯にしても、それぞれの地域がしっかり機能できれば自ずと強い街になるのかなと考える。地域が機能することによって、いろんな課題が少しでも解決していくのではないかと。いろんな地域が機能すれば鎌ヶ谷市のまちづくりが良い方向に行くのではないかとこの思いがあり、所々使っているがわかりづらくなってしまっているのか。

委員： 私も同じ思いである。地域が土台であるということは皆さんも同じ思いだと思うので、どこかにそれを記載しておけばいいのではないかと。

会長： 第4次計画策定に向けたたたき台については、これで終了とする。

6 その他

7 閉会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違のないことを証するために次に署名する。

令和2年3月27日

氏名 石田 友和

氏名 伊藤 眞由美